

日本語教室の親睦会（夏祭り）が開かれました 踊りの輪やおしゃべりで多くの人と触れ合いました

秋山 勝（日本語教室部会）

8月23日(土)京成津田沼駅前夏祭りに参加して、日本語教室部会の親睦会が行われました。猛暑の中、参加したのは日本語学習者、家族友人、ボランティアとその他あわせて110名でした。学習者と家族友人のみなさんは、多くがゆかたに着替えた後、飲み物や軽食とともに歓談を楽しみ、その後恒例の吉野会の方による指導で踊りの練習を行い、全員での記念撮影の後、夕方からは駅前広場へ移動して、市民たちの輪に入り元気一杯に踊りました。

多くの人初めての体験で、「ゆかたを着てみたかった」「盆踊りに参加してみたかった」の声も聞かれました。学習者の友人で中国からの留学生のリウセンチさんは「さまざまな国の人たちと一緒に日本の伝統舞踊を楽しんで、日本の文化を深く理解することができました。お祭りらしい賑やかで楽しい雰囲気は特別な思い出です」と語ってくれました。

在住外国人のみなさんも日本の市民と交わり、日本の文化体験を望んでいます。このような機会がもっと増えること、そして私たちの活動が交流の役に立てたらいいと思いました。



国際理解講座が開催されました!

8月30日(土)に国際交流部会主催の国際理解講座が開催されました。講師はNIA会員で元JICA職員の大宮航時(こうた)氏。講演のタイトルは「わたしと世界、ときどきアフガニスタン」でした。吉村会長のあいさつに続いて、大宮さんの講演が始まりました。いろいろな国の風景、人々や料理などの写真や民族衣装を紹介しながら、緊迫した状況を時にはユーモアを交えてお話しくださいました。ご自分の幼少時代や学生時代等の経験、思い、決断などが時間を追って語られ、またJICA勤務当時の実体験を通して気づいたことや考えたことなども丁寧にわかりやすくお話しいただきました。どの話題も興味深く、目の前で起きた現実を踏まえた上でのお話なので、とても説得力があり緊迫感が伝わるものでした。

大宮さんが特に強調されていたことは、

1. 常に謙虚に、敬意と好奇心を持ち続けることが大切である。分かりあえないことが差別や対立を生んではならない。「共生」の前に、お互いの存在を認め合う「共存」が必要ではないか
2. 「共存」から始めて、「共生」そして「共栄」へ



アフガニスタンの民族衣装を紹介する大宮氏

と進めてはどうか

3. 各自の生き方や価値観を大事にして、生きていく社会を選ぶことのできる世界でありたい
 4. 習志野市をまずは多文化「共存」社会にしていってはどうか
- などでした。

講演後の質疑応答も活発になされ、とても充実した時間となりました。大宮さん、貴重なお話本当にありがとうございました。また、ご参加いただいたみなさんありがとうございました。(広報部会)



左) 熱心に聞き入る参加者のみなさん

右) 活発に行われた質疑応答

第64回世界の料理教室が開催されました!!

7月26日(土)に世界の料理教室が開催されました。今回はイタリアの家庭料理ということで、日本語教室の学習者でもあるイタリア出身のセルジオ・ジェンティレさんを講師にお迎えしました。メニューはモツアレラサラダ、ボロネーゼスパゲッティ、チキンカツレツでした。先生の感想は、「とても楽しかった。始まる前はうまくいくかと不安だったけれど、みなさんがとても熱心によくやってくれて自信がついてきた。料理教室ができて本当に良かった」とのことでした。先生ありがとうございました。

(広報部会)

詳しくは、[ホームページ](#)をご覧ください。



モツアレラサラダ、ボロネーゼスパゲッティ、チキンカツレツ



吉村会長のCoffee Break

第7回 世界水フォーラムと Cappadocia の思い出

トルコの首都イスタンブールで「第五回世界水フォーラム」が開催（2009年3月）され世界192カ国から約3万人の参加、各国のVIP（国家元首や閣僚）95名の出席で開会式が盛大に行われた。日本の皇太子殿下（当時）は「水との共生、水と災害」をテーマに基調講演、盛大な拍手が巻き起こった。毎回「世界水フォーラム」に出席している筆者は、今回は妻を同伴、会議の合間に、世界遺産「アヤソフィア」、「トプカプ宮殿」を見学、世界会議終了後には、かねてより訪れてみたかった世界遺産「カッパドキア」に向かう。

カッパドキア・恐怖の物語

会議終了後、イスタンブール空港からカイセリ空港行きの国内線に搭乗、約1時間15分のフライト予定。着陸寸前に「トルコ語だけの放送」があり着陸、乗客がロビーに集まり始めた。私は事前に手配をしていた「英語の判るガイド」を探したが、ロビーには見当たらなかったため、「探して来る」と妻に告げ、ゲートから外へ出た。「やっぱり未だ来てなかった」と妻に告げるためにゲートに入った、

その瞬間、軽機関銃を持った衛兵2人にガッチリ、羽交い絞めにされた。妻はロビーの中で真っ青、驚きで声も出なかった。

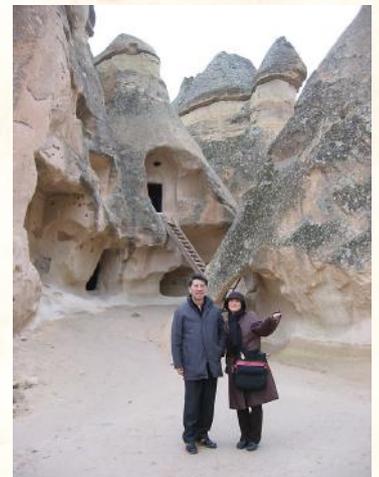
衛兵はトルコ語で怒鳴っているが、私には分からない、衛兵は乗客ロビーに向かって大声で「誰が英語の判る人いないか?」。そして英語の判る乗客の一人が私に説明してくれた、「着陸予定のカイセリ空港は現在、積乱雲に囲まれ着陸不可なので臨時に着陸した。ここは軍事空港なので、一般人は外へ出ることが出来ない。衛兵の指示に従って、正面玄関から入り、もう一度セキュリティチェックを受ける!」と、さらに衛兵に、「この日本人が間違っ外に出たが、彼はスパイではない」と説明してくれたに違いない。（多分?）ロビーで妻と無事再会、そして飛行機は再びカイセリ空港に向けて出発し、我々は無事カッパドキアに到着。乗客の中に「英語の判る人」がいて良かったと、改めて英語は世界の共通語だと痛感した。トルコは国境紛争（シリア、イラク、ギリシア、キプロスなど）を数多く抱えている国なので、国家の安全保障、国を守る国家権力の凄さを肌で感じたカッパドキアの旅であった。

（吉村和就/習志野市国際交流協会会長、国連テクニカルアドバイザー）



左) 第五回世界水フォーラム 皇太子殿下（当時）の基調講演「水との共生・水と災害」（筆者撮影）

右) 世界遺産 カッパドキアの奇岩都市



第1回日本語ボランティア研修会が開催されました（参加者41名）

中村松男（日本語教室部会）

今年度1回目の研修会が7月16日（水）開催されました。講師は一般財団法人自治体国際化協会から派遣された地域国際化推進アドバイザーの崔英善（チェ・ヨンソン）先生で、テーマは『やさしい日本語』～学習者の視点から見たやさしい日本語—日本語と文化、両方の側面から～

チェ先生は地域の生活者として、また日本語学習者としてのご自身の体験に基づき、外国人にとってわかりやすい日本語はなにか、具体的な事例をあげて話されました。また、日本語の文章構造の複雑さ、語彙数の多さと漢字とかなの併用、曖昧な表現に隠されたニュアンスなどを指摘され、外国人とコミュニケーションをとるために、「やさしく」言い換える事の大切さを説明されました。やさしく言うための例として、①分ける、②整理する、③大胆にというワセダ式三原則や、さらに、受動

態、敬語、擬声語を避ける、可能形は「することができる」という、否定ははっきり言うなどのアドバイスいただきました。また、グループワークではイベントの案内チラシを「やさしい日本語」で作りました。チェ先生の学習者の視点からの指摘は説得力があり、日本語を教えるうえで大変参考になりました。



「あすなろ会書道体験教室」をおこないました

7月14日(月)、16日(水)に「あすなろ会書道体験教室」をおこないました。

学習者21名を含め、26名が参加しました。参加した人は、自分が選んだ言葉を自分で筆を使って書き、楽しんでいました。

代表幹事の勝又さん、講師を引き受けてくれた日本語ボランティアの富澤さんのコメントです。

勝又さん

「1時間という短い時間で、練習と作品まで到達する

日本語教室部会 「ふれあい掲示板NEWS」より

のは難しいのですが、仕上がった作品は個性が出ていて感心しました。」

富澤さん

「皆さん すごく集中して書いていて、素晴らしいです。一度ではなかなか覚えきれず、難しかったと思います。作品としても、それぞれのおもしろさがあり、ひとりひとりの表情の見える良いものができたと思います。」

詳細は、ふれあい掲示板NEWS7月号の「いろいろな情報」に掲載されています。



市民まつり「習志野きらっと2025」に参加しよう！！

日時：2025年10月12日（日）午前9時30分～午後6時

場所：習志野市庁舎敷地内、市役所通り

NIAのブースは市庁舎の東側です。協会のPRや姉妹都市交流の報告を行います。もちろんサンバパレードにも参加します！民族衣装での参加も大歓迎です。ダンスの練習もします。軽食や飲み物の準備があるので、パレードに参加する人は事前に事務局へ申し込んでください。



昨年度の習志野きらっと2024の様子



2025年度バスツアーの参加者募集！！

日にち：2025年10月21日（火）

行き先：牛久大仏・筑波宇宙センター等（茨城県）

参加費：4,000円（非会員5,000円）

受付開始：10月7日（火）午前9時から

問い合わせ：NIA事務局



詳しい記事はホームページをご覧ください

【発行】

習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F
〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
<https://www.nia08.com/>
nia@jcom.zaq.ne.jp

【広報から】

- ◆ メールマガジンに読者登録をスクウェアの電子版「メール・スクウェア」を配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレス niasquare@jcom.zaq.ne.jp まで。
- ◆ 原稿をお寄せください
イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局または niasquare@jcom.zaq.ne.jp へ。
- ◆ スクウェア編集部員を募集しています
一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。